

なきごえ



1968

11

大阪市
天王寺動物園協会

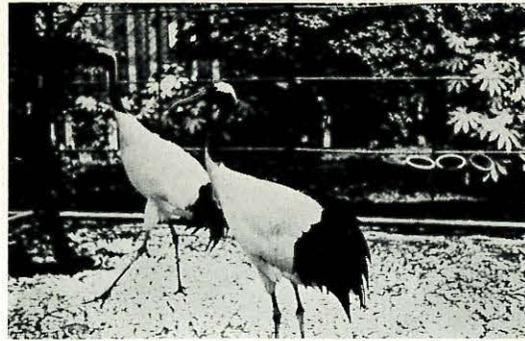
動物の紹介〔第25回〕

「タンチョウ」

ツルの種類には色々ありますが、中でも最もすばらしいのがこのタンチョウです。特に雪の上で舞う姿は気高かし優雅そのものです。

分布はシベリヤ、中共の東北地区（旧満洲）、北朝鮮となっていますが、昔は日本全国にもすんでいて東京周辺などでも見られたと図鑑には説明されていますから相当たくさんいたのだでしょうが今では北海道の釧路附近の北釧路、標奈、舌辛の3村の湿原に渡って来ますが、中には、移動をせずに年中溜まっているのもいるそうで昭和39年の調査では147羽生息していることが確かめられています。これらの調査には北海道の阿寒中学校の生徒達が熱心に協力しています。冬期の餌の少ないときは民家にも接近することがあるので好物のトウモロコシを与えたり、生態などを観察しています。その観察記録によりますと、彼らの好む湿原地帯は雛を育てるのに絶好の場所その泥炭地は人がはいり込めないようなところで夏ともなれば青い葎が生い繁り灌木が点在しています。巣のまわりの葎を4m四方に、まるで鎌で刈りとったように短くした中央に葎を30~40cm程積み上げた直径1m位の産座をつくりますが、他の鳥たちがするように羽毛や枯草を敷くようなことはしません。卵を産むのは3月下旬から4月中旬に必ず2コの卵を2~3日の間隔に産みます。これを夫婦が交替で暖めるのですが、奇妙なことにはこの内1コが破損すると又1コ産みまして2コにします。又この2羽の雛は必ず雄雌で成長すると夫婦になって仲よく暮します。もし何かの都合で1羽が死ぬようなことがあると残った1羽は必ず一生独身で暮し、他の鳥と夫婦になるようなことはありません。

このような鶴の生態が、道徳的にも深く人の心を打つものがあり、又、その美しい姿態などから、私共の生活の中に最も縁起のよい鳥とせられ、結婚式などの飾りものにも多く用いられ絵に



もよく書かれています。しかしこの鶴の絵をよく見ますと、飛んでいる鶴の尻尾が黒く書かれてるのがよくあります。鶴の羽根の一番体に近い部分にある第3列風切羽が非常に長いので羽をたたんだときにこの部分が尻尾の羽根の上にかぶさって尻尾の様に見えるので、地上に居るとき全く尾のように見えるのです。羽根を開くと分かりますが尾は真白で黒い羽根は1本も生えていません。

本園のタンチョウは昭和24年3月3日に入園したものでその間いくどか産卵して抱卵しましたが、どうしたことか途中で発育が中止して完全にふ化しません。何とかふ化させたいものだと一生懸命頑張っているのですが、少し年も取り過ぎたようで此の2~3年は卵も産まなくなりました。鶴の寿命は45年位とされていますから推定30才を越えているのでしょう。此の老夫婦を一生安楽に過ごさせてやりたいと思っています。

(松岡恵爾)

表紙の写真説明

アメリカバク

南アメリカのブラジルやパラグアイの比較的山地の森林にすみます。

バクは昔から夢を食う動物などといわれていますが、何となくそんな感じのするユーモラスな顔をしています。

コウライキジの人工授精

動物園ではキジ類が春先から卵をたくさん産みますが、自然の環境とちがいキジ舎内は安心する場所でないためか自分では卵を温めようとはしません。ですから人工ふ化といって電気ふ卵器に卵を入れてふ化させるのですが、雛になるふ化率はキジの種類にもよりますがだいたい40%位で中には全く発育しない卵が多くあります。

これら途中で中止する原因として母鳥の病気、卵黄の栄養不足、電気ふ卵器の温度、卵の保管の問題などが考えられます。

これらについては獣医さん方が色々と研究されています。これらのことを側面から調査することと、又貴重な品種の種の保存などの問題から、「指導をするから人工授精をやってみろ」と命ぜられました。この仕事はもともと畜産科出身の私にとっては興味あることでしたので、大いに張切って着手しました。以下その大要をご紹介します。

先づ41年に生産された、コウライキジ雄2雌2を与えられましたので早速60×60×70cmと云う少し狭いですが金網張りの鶏のバタリー形式の室に収容しました。

飼料は成鶏用配合飼料を主体としましたが、パンクズが非常に好きなことが分かりましたのでこれを加えましたがこのパンは私が手を差込むと直接手からとって食べるようになり馴致に大変好都合でした。

さて人工精液を採取するのですがこの方法は鶏で行なわれていると同様で下腹部の聴骨に沿って強マッサージして肛門を強くしぼるようになると液が出ますが、始めは私が下手なため鳥も嫌が

っていたようです。その内私も上手になったのか0.05cc位の乳様の液が出るようになり、これを補助者にスポイドで吸上げてもらいます。もちろん獣医室でこの液が確実なものであるか否かの検査をしてもらいました。この精液採取に鳥が馴れるのに手間どり、3月26日から産卵を開始している1羽の雌鳥に間に合うように一生懸命努力した結果、5月3日から実施することが出来るようになりました。

雌に対する液の注入ですが、これは左手で両足をにぎり、ひざの上に背をおいて下腹部を背部に押し上げるようにして肛門を反転させ、スポイドで確実に輸卵管に注入します。

雌に対する注入は5月3日から開始して3日乃至



コウライキジ (向うがわの2羽)

手前はミヤマハッカク

5日間隔で6月1日まで30日間、9回注入しました。

産卵は5月7日から開始され5月16日から6月1日まで15個の産卵が見られ

ました。

この卵をふ卵器に入れた結果、受精率は83.3%で、5月30日に産卵した1個だけが無精卵でした。

ふ卵中5月11日に産卵したものが1ヶ発育を中止しただけで15卵中13卵がふ化しましたのでふ化率86.7%の成績です。

今回用いた2羽のコウライキジのうち1羽は産卵率が悪かったので1羽についてしか実施出来ませんでした。今回の試験は将来の仕事に大いに役立つものであると思います。

これを参考に来年は又一つ張り切って人工受精を続けて行きたいと思っています。

(鈴木克治)

動物園グラフ

“ツルとコウノトリの仲間たち”

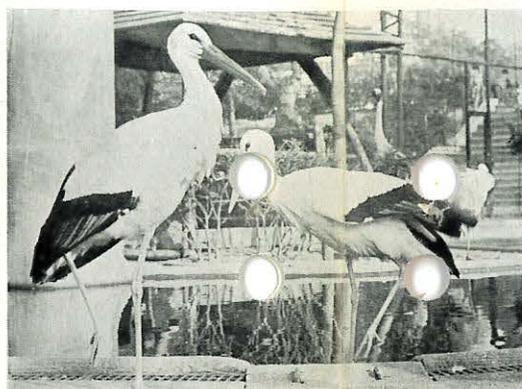
今月はツル舎とフライングケージにいるツルとコウノトリの仲間を御紹介します。



↑ **カンムリヅル**
頭にいがぐり様のカンムリがある美しいツルです。アフリカの草原にすんでいます。頬の色がしろいのがホホジロカンムリヅルです。



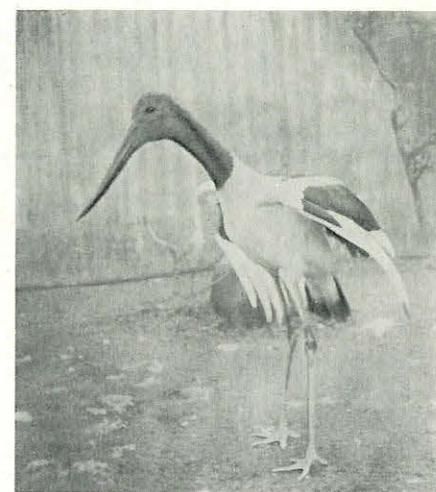
↑ **タンチョウ**
関西地方の動物園にはこの2羽しかいません。特別天然記念物になっています。



↑ **シュバシコウ**
原産地のヨーロッパ地方にも大変少なくなっています。毎年2~3羽のひなが生れて大変にぎやかになりました。



↑ **ハゲコウ**
頭からクビにかけてはげているのでこの名があります。アフリカやインドなどでハゲタカとまじって動物の死体をついで食べます。

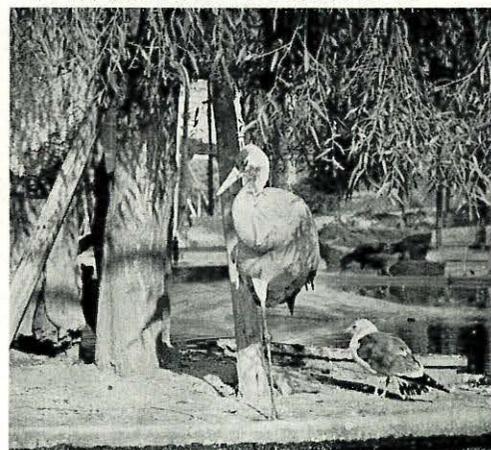


↑ **クロクビコウ**
インド、セイロンなどにすんでいます。クビから上が青黒いのでこの名があります。

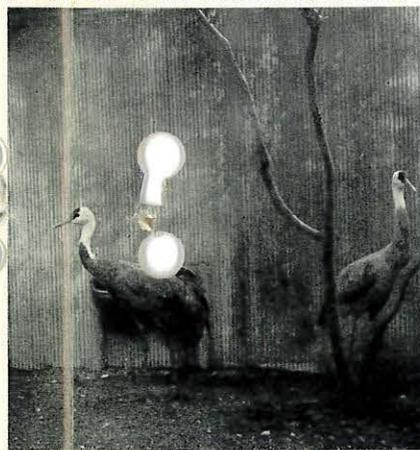
オオヅル
インドにすむ大形のツルで去年からひなをかえすようになりました。



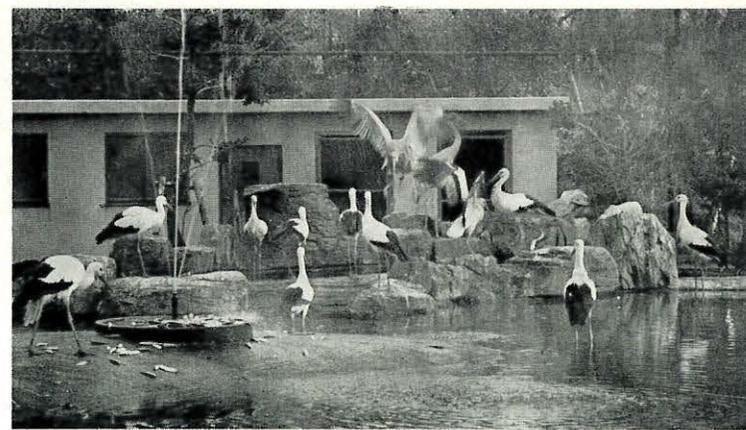
クロヅル
羽の色は灰黒色で中形のツルです。中国大陸からシベリヤに分布します。



ナベヅル
大陸のバイカル湖などにすんでいて冬に日本に渡ってきます。鹿児島県の出水市などに毎年きますので大切に保護されています。



フライングケージでの食事とき好物のどじょうを食べようと餌場にあつまつたシュバシコウやオオヅル



10月動物園日記

- 3日 シシオザルの赤ちゃんがうまれましたが、授乳がうまくいかず、3日後に惜しくも死亡しました。
- 5日 動物舎に暖房のスチームを送るボイラーの火入れ式を行い、本格的な冬仕度に入りました。
- 7日 マントヒヒの夫婦に初めて赤ちゃんが生まれましたが、初産のためか母親がたいへん興奮してうまく育児できず、5日後に死にました。

- 8日 クモザルの1頭が食欲不振で入院し治療しています。
- 9日 オオヅルの1羽がふ化し、13日にも2羽目がふ化しました。
- 10日 ヒグマの子が前肢に咬傷をうけ治療しています。
- 12日 ビューマのおすの前肢の爪があまり伸びすぎて歩きにくくなってきましたので、スライディングケージに入れて切ってやりました。
- 14日 ニホンシカのおすの角を切る作業を行いました。秋にはシカが気が荒くなりケンカしたり人に向かってきた

- りしますので、毎年この頃に行っています。
- 15日 涼しくなってきましたので冷暖ペンギン舎内の極地ペンギンなどを屋外プールに移してやりました。カンガルーのめすが腰麻痺がおこり加療しています。
- 16日 ゴリラ、チンパンジーなど軽い感冒にかかり治療しています。
- 19日 ライオンのおすが帯広動物園に出ていきました。かわりに、ヒグマが入ってきて今までのと番になります。
- 25日 ラバは老衰のため2~3日前より腰が立たなくなり加療

- につとめましたが、死にました。
- 26日 人工哺育中のカンガルーのヌプリちゃんが急に白内障になってしまいましたので、眼科の専門医に診療を受け、手術を受けることになりました。
- 30日 ニホンシカの仔は何かにおどろいて柵に激突し、頸の骨を折り死にました。
- 31日 ハゴロモヅルが死にました。高速道路の工事区域にかかっていた飼料倉庫、調理場などの移転を全部完了しました。

ペットを訪ねて

ヘビの赤ちゃん 誕生 (2)

大阪府守口市梅園町56
伊丹啓祐さん

前月に引続いて、伊丹さんのお話を続けましょう。

「卵をふ化さす法」

卵は、大体、かたまって生みますから、糞などで汚れないうちに親より放し（この時、親はとびついてきますから御用心）

Iの方法

おがくずを水でしめらせ、その中に卵を軽く埋めておき、そのおがくずが乾かない様に時々、水分を与えます。水分と申しましてもポトポトにしてはいけません。だが、ここで最も注意しなければいけない事は、おがくずが製材所によって、石油、機械油のまじっている事です。ヘビは卵と云へどもガソリン系統は大の禁物ですからクレグレも御用心下さい。

IIの方法

平らな植木鉢等に草を植え卵をおき、上からも軽く草をかぶせて、適当に水分を与えます。但し、草が枯れてきますと、湿気のため、腐敗して発酵しますので、常に青い草と取りかえる必要があります。

IIIの方法

ビニール製のスポンジ様のものを敷き、卵をおき、上から水苔^{ゴケ}をかぶせておきます。勿論水分はいずれの場合も同じです。尚、これらの装置は少なくとも40センチ位の深さのある箱に入れておき、上部は金網でふたをしておきます。生れた許りの子ヘビでも油断は禁物。

哺乳類とちがってとても元気。自分の身長位、わけなくのりこえ逃亡してしまいます。

さて、これらの箱は、室内においてもよろしいが、近頃は、クーラーのある家が多く従ってこのような室や家ではいけません。卵のふ化には一定の温度と湿度が必要なのです。故になるべく、外部がよろしい。但し、直射日光はいけません。

又、雨も駄目です。夜露は差支えありません。

こうして上手に管理しますと、卵は大体、1カ月半から2カ月位でふ化し、かわいい子ヘビが勢よくとび出して来ます。昭和41年の8月はとても暑く、36度の日がかなり続きましたので、私の手許にある卵も7月15日に生んだ分が、予定より早く8月29日に2匹生れました。青大将も次々と姿を現わしました。生れた子ヘビは青大将で30センチ、山かがしで15センチ、マムシの子は18センチもあります。

さて、彼等は約2週間位で第一回目の脱皮をします。それまでは、何も食べません。尤も水は飲むようですから別の器に清水を入れておいてやります。

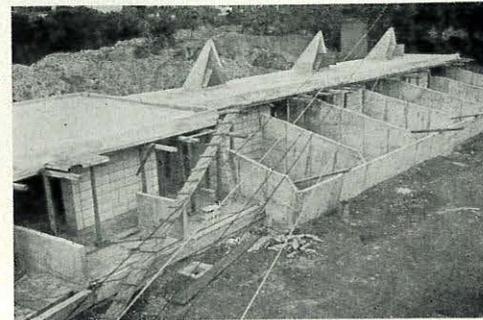
第一回目の脱皮がすみますと食欲が出てきますから、いよいよ餌づけにかかります。これが仲々、大変な事で皆が皆、成功するとは限りません。
(中川道朗) (つづく)

なきごえ11月号もくじ

動物の紹介(タンチョウ).....	2
コウライキジの人工授精.....	3
動物園グラフ(ツルとコウノトリの仲間たち)...	4.5
ペットを訪ねて(ヘビの赤ちゃん誕生(2)).....	6
動物園ニュース.....	7

動物園ニュース

☆ 新小獣舎完成まじか



かねてよりトラ、ライオン放飼場横で新設中の小獣舎は、工事を急いでおり、かなりできあがってきました。12月初旬よりここに、タヌキ、キツネ、ヤマネコ、スカクなどを収容して入園者の皆様にお目見得することになるでしょう。

☆ 高速道路工事進む



このほど高速道路工事予定地内の動物園施設はすべて撤去され、本格的に進んでいます。又、動物園事務所も新しく建設されることになり、予定地の整地作業が行なわれています。

☆ おしゃべり鳥コンクール開催



11月3日好天気に恵まれた文化の日には動物園もたくさん入園者で賑わいました。この日、関西鳥獣商組合主催の「おしゃべり鳥コンクール」が開催されました。

日頃、家庭でものまね自慢のキューカンチョウ、オームなど50羽がおしゃべりを競いあいました。

☆ 協会売店だより



天王寺動物園協会直営の売店が10月初めより東門横で開店しています。(9月号既報)アイスクリームや飲みもの他にお菓子類、それにおみやげや、動物園のえほん・えはがきも売っています。

《入園御案内》

★開園時間及休園

3月～10月 午前9時～午後5時
11月～2月 午前9時～4時30分
◇閉園30分前で入園券の発売を終ります。
◇12月30・31日のほかは年中無休です。

★入園料

普通	大人(13才以上)	60円
	小人(5才～12才)	20円
団体	30人以上	大人54円 小人18円
	50人以上	大人48円 小人16円
	100人以上	大人42円 小人14円
	◇中学生は小人料金扱	
	◇5才未満は無料(但し保護者付添のこと)	

★駐車場使用料

バス	1台	1回	200円	(2時間まで)
乗用車	1台	1回	100円	(ごとに)

★交通

市バス	動物園前下車(南門正面)
地下鉄	動物園前下車徒歩2分
国鉄	天王寺駅下車公園内徒歩10分
近鉄	阿倍野橋下車
南海	恵美須町駅下車徒歩5分

先生！ 運動用具はそろっておりますでしょうか？

発育ざかりの現代っ子に必要な、とび箱、鉄棒など、情操教育と体力向上の手助けをする、数々の運動用具は、そろってお

りますでしょうか、安全性をモットーとし、運動器具の製作・設置をしているのが、長い歴史を誇る堺の木下製作所です。



創業・明治37年 文部省指定工場

株式会社 木下製作所

大阪府堺市鳳中町2丁目41

TEL 0722 (62) 0341・0596

おしゃれ仲間の合ことば ミテケ・テケミ を着よう！



ミテケ
テケミ

あっちの友達、こっちの友達

みんなミテケ・テケミを着ています。

色がすっごくきれいです。

あなたもミテケテケミで

おしゃれをしてみましょう。

仲間の合ことば

思いっきり、遊べる服、

内外の子供服ミテケ・テケミを着よう！！



肌着から洋服まで

シルバーオックス

内外衣料製品株式会社